

自己評価				評価(総合)	学校関係者評価		
学校運営計画(4月)	(教育目標)	(運営方針)	年度重点目標	具体的目標	評価(総合)	自己評価は	
<p>【成果】ICT活用の職員研修を重ねたことで授業改善を図ることができ、生徒の学習意欲の向上につながった。また、生徒の判断を取り入れた制服の着こなしや、生徒会を中心とした学校行事の企画・運営、地域と連携した活動やコースの専門性を生かした活動等、コロナ禍の制限があったものの、生徒が主体的に取り組む場を創出したことは生徒の成長につながった。さらに、計画的・継続的な中学校訪問や、ホームページ、SNS等を通じたスピード感のある発信により、広報活動を充実させることができた。</p> <p>【課題】創立百周年を迎える本年度、記念式典等の行事を成功させることともに、より一層魅力ある学校づくりに取り組んでいく。そのため、全職員が同一目標に向かって、個々の生徒に応じた教育を効果的に提供し、生徒自身が考え、意見を発信する場を創出することで、本校の課題である生徒募集に繋げたい。</p>		<p>「不易流行(伝統と革新)」～100年目への挑戦～」のもと、グローバル化した社会の一端で何事にも怯まず、互いに理解し尊重できる生徒の育成に努める。</p> <p>教育目標を達成するために、次のような「目指す 学校像・生徒像・教師像」に従い、確かな学力・豊かな心・健やかな体をはじめとした、社会を生き抜く力の育成を図るとともに、地域に根ざした存在のある学校づくりに努める。</p> <p>(1) 目指す学校像 ア 想像する力を伸ばし、何事にも全力で取り組む意欲と活気に満ちた学校 イ 生徒と教員が協働し「学びのコミュニティ」を効果的に提供する学校 ウ 本校の校風を生かした全人的な成長を促し、地域から愛され信頼される学校</p> <p>(2) 目指す生徒像 ア 互いを理解し尊重できる、豊かな心をもった生徒 イ スポーツ文化を愛する心と、知覚とともバランスの取れた生徒 ウ 夢や目標を持ち、その実現のために努力することを最後まで諦めない生徒</p> <p>(3) 目指す教師像 ア 教育活動全般にわたり利他的心を持って接する教師 イ 実践的指導力の向上を目指し、常に自己研鑽に努める教師 ウ 常に率先垂範に努め、生徒の自主性が育まれるような人間味豊かな教師</p>	<p>「三瀬高校ブランド」の実現に向けて邁進する</p> <p>1 学習意欲向上による学力向上 2 自律・主体的な習得 3 表現力・伝える力の育成 4 進路実現に向けたキャリア教育の充実 5 社会の一員としての自覚を持つ、心豊かな人間育成 6 地域に開かれた学校づくりの推進 7 「スポーツの三瀬」の充実・発展 8 自他の人間性を認めることによるいじめの撲滅</p>	<p>・生徒の実態把握に努め、能力に応じた教育を効果的に提供する。 ・AL・IGT教育を推進することにより、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。 ・観点別評価を取り入れた透明性のある評価規程を確立し、学習意欲の向上を図る。</p> <p>・自ら考え、判断し行動して目標達成や課題解決をすることができる力を身につける。</p> <p>・多様な場で成果発表を多く経験することで、プレゼンテーションやフィードバックの力を養う。</p> <p>・3年間を見通した教育活動を実施するためロードマップを活用し、計画的にキャリア教育を推進する。 ・各分掌・学年が連携することにより、第一希望の進路実現に努める。</p> <p>・「時間の厳守」「さわやかな挨拶」「心を込めた清掃」を徹底することにより、規範意識・自尊感情を醸成する。 ・自分で考え行動する力をつけることで、当たり前のことが当たり前になる生徒の育成を図る。 ・常に率先垂範に努め、生徒の自主性が育まれるような生徒指導を目指す。</p> <p>・HP、Twitter、Instagram等の広報活動を充実させるとともに、地域と協働し、魅力ある学校づくりに努める。 ・定期中学校訪問等、戦略的広報活動に取り組み、学校全体で生徒募集に努め、地域との交流を活性化させる。 ・地域行事等にボランティアとして参加するとともに、地域参加型の学校行事を企画し、地域に開かれた学校づくりに努める。</p> <p>・「守る・観る・支える・知る・極める」ことを自分で考え、行動する生徒を育成する。 ・スポーツ文化コースの特色を活かし部活動の競技力向上及び、学校全体の活性化と充実振興に努める。 ・健康教育と安全教育を推進する。</p> <p>・心を育む道徳教育の充実を図り、人としての使命感、責任感を持った生徒を育成する。 ・SC、SSW、PIA等と情報の共有化を図り、いじめや不登校の防止に努める。</p>			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題	項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見	
特色ある学校づくり	<p>地域に根ざした発信力ある学校づくりの推進</p> <p>「スポーツの三瀬」を中心とした魅力ある学校づくりと活性化の推進</p>	<p>地域で行われる行事に参加し、地域社会に貢献するとともに、魅力ある地域を作るための提案や、魅力の発信の仕方などについて、高校生ならではの視点で発揮できる協働的な学習活動の場を積極的に作っていく。また、地域に根ざす学校の在り方を模索するとともに情報発信の強化に努める。</p> <p>3年間を見通した教育活動(ロードマップ)を推進し、大学や地元企業との連携をおしかりキャリアの工夫をおしかり、地域社会に貢献する人材育成を目指す。</p> <p>スポーツ教育等、地域との交流を深めることとおしかり、守る・観る・支える・知る・極める生徒の育成を図り、「スポーツの三瀬」の充実・発展を推進する。</p> <p>共生社会を視野に入れた実習等魅力あるカリキュラムの工夫と実践をおしかり、生徒の学力向上と進路実現を図る。</p>					
教務部	ICT等の新しい指導法の研究や新たな成績処理システムの効果的活用	無償LANを利用しICT機器を使って積極的に知識の習得と協働的な学びを充実させ実践的な態度を身につけさせる。					
観点別評価の基盤作成と教務内規の改定	観点別評価の評価基準・評価方法の明確化	観点別評価を実施する上での各教科・科目の基準を明確化し、毎回授業で生徒に示す。					
P T A 活動	P T A 活動の活性化	魅力あるP T A 活動内容を計画し、より多くの参加者を募る。また、活性化を図り、関係者からも広めてもらう関係作りを目指す。					
記録の収集と整理	創立百周年記念事業の成功に資する環境整備	創立百周年記念事業を成功させるための周到な準備を行う。					
広報活動の活性化	三瀬高校の魅力と特徴が伝わるような広報活動の展開	スポーツ文化コース、普通科一般教養コースの魅力と特徴が伝わる学校案内を作成する。中学生や保護者向けの学校説明会の内容を充実させる。					
中学校対策の強化	中学校との信頼関係の構築	訪問先の中学校出身生徒の情報を具体的に伝え、本校の指導を中学校に理解してもらう。					
生徒部	生徒の人間力の育成	「不易流行(伝統と革新)」を基盤とした、生徒会活動の活性化と学校行事の創出					
安心、安全な環境づくり	いじめや問題行動の未然防止・早期発見及び的確な早期対応と組織的な対応の実施	教育相談委員会や各学年等で気になる生徒の情報を共有し、全職員で組織的な対応を行う。					
交通安全	交通安全教室・モラル・モラルの意識の高揚	交通安全教室、二輪車実技講習を開催することで、生徒の交通安全に対する意識と態度の向上を図る。					
部活動の支援	計画的な活動と部活動生徒の支援体制強化	各部活動生徒が安心、安全に日々の練習が行える環境作りをしていくための支援体制作りを推進する。					
保健管理	生徒健康委員会の充実と活性化	「保健だより」を定期的に発行し、配布の際には保健委員会から連絡を行う。					
教育相談	課題を抱える生徒への早期対応	教育相談委員会を開催(毎月1回)、課題を抱える生徒を把握し早期対応にあたる。					
環境美化	生徒美化委員会の充実と活性化	美化強化週間の実施を通して、清掃への生徒の意欲を高める。					
進路指導	自己管理手帳とClassiを活用し、各分掌・学年と連携して、生徒が自ら学ぶ姿勢を伸ばす。						
探究活動	「MJCプロジェクト」における課題研究成果の共有による課題対応能力の伸長	3年間を見通した「MJCプロジェクト」実施計画を確立し、職員・生徒の共通理解を図りながら課題対応能力の伸長につなげる。					
職員研修	教師の資質向上を図る研修の推進	本校の課題をふまえた効果的な研修を計画実施する。また、研究授業や相互視察等を活用して、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を推進し、教科指導力の向上を図る。					
人権教育	人権・同和教育の充実	本校の人権教育全体計画に沿い、学校教育の全領域における人権・同和教育の取組を推進する。					
進学対策	活動実績となる諸活動の研究	進路生に活動実績として報告できる活動について、従来のものと併せて開拓・整理すると共に、生徒の積極的な取り組みを支援する体制を整備する。					
就職対策	公務員試験対策の充実	公務員希望者に向けた課外授業、保護者説明会、事前指導等の内容を深化し、進路実現の支援を充実させる。					
基礎学力向上	学びへ向かう姿勢の涵養と基礎学力の定着	生徒が社会で生き抜くための学力の重要性を学ばせるとともに、具体的な進路目標を持たせ、学習結果を数値などに可視化して学ぶ姿勢を養う。Classiなどの学習教材を活用して生徒の家庭学習の内容を把握するとともに、見て学ぶ内容を生徒に示して学習が継続できるようにする。					
競技力向上	生徒の主体的な育成	体育科職員、クラス担任と連携を図るとともに、スポーツ科学トレーニング、スポーツ文化講座等授業での仕掛けを作る。また、スポーツ文化コース集金を計画的に行う。					
授業の充実	質の高い練習環境の整備	練習時間を確保するとともに指導者のレベルアップを図る。また、練習施設を適切に管理する。					
生徒確保	より質の高い生徒の確保	中学校や各大会を視察する。					
教育環境の整備、充実	生徒の幸せを念頭に教育活動を快適な環境で行うための財政的支援	新学習指導要領の年次進行に合わせ、教務課と連携しながら教材等の計画的購入を進めていく。					
生徒・教職員等の安全安心の確保	事故等の未然防止による、生徒・教職員等の生命・財産の保全	新型コロナウイルス感染症対策や熱中症対策等については、保健衛生用品の迅速かつ計画的な購入を進める。※保健環境課と連携					
円滑な事務処理の推進	業務改善の視点に立った円滑な事務処理と教育活動への支援	事務室からの職員への連絡は、学校ポータルサイト内の連絡掲示板を活用することで、職員への周知遅れを防ぐとともに、職員朝礼における事務連絡の時間短縮を図る。					

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

評価項目以外のものに関する意見

令和4年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

福岡県立三瀬高等学校

66

Main evaluation table with columns for '自己評価' (Self-evaluation), '学校関係者評価' (School stakeholder evaluation), and '評者(総合)' (Reviewer). Rows include '学校運営計画 (4月)', '昨年度の成果と課題', '評価項目', '具体的目標', '具体的方策', '評価(3月)', '年度末の主な課題', '項目ごとの評価', '学校関係者評価委員会からの意見', and '自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策'.

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策
・生徒数が増えることにより、一人一人に寄り添った指導を行い、第一希望に応じた進路実現を可能にする学校を目指す。
・生徒主体の学校行事の実施等により生徒の活躍の場を増やし、自分の考えを自信をもって人前で表現できる生徒の育成につなげる。
・地域資源の活用も含めた地域との連携を推進し、部活動の活躍以外の面においても、三瀬高校の特色、魅力を広げることが必要である。

評価項目以外への関する意見
・社会に出てからの人生の負債である。三瀬高校出身の生徒は「礼儀」「返事」がきちんとできているというように、礼儀を重んじた教育を受けてもらいたい。
・学校の雰囲気非常に良いと思う。